

# (TMJ撮影)

## ○ 準備

1. 患者には、事前にメガネ、アクセサリ等を外しておいてもらいます。
2. 操作パネルで、撮影モードおよびパラメータの設定を行います。
3. チンレストベースに、TMJアダプタを取り付けます。(写真はTMJアダプタ(ADULT)です。)



### ⚠ 注意

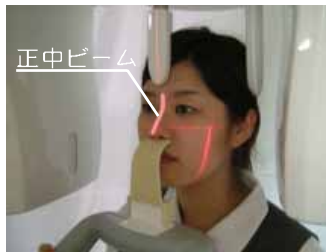
- TMJアダプタは、患者ごとに清掃してから使用してください。

## ○ 患者の位置付け

1. チンレストを患者の顎の高さに合わせます。患者を装置の中に導入し、背筋を伸ばしてTMJアダプタが患者の鼻下点になるように、チンレストの高さを調節します。



2. 患者導入後、ビームスイッチを押します。次に、患者の正中矢状線を正中ビームと合わせます。鏡に映った患者を見て中心であることを確認します。



3. 眼耳ビームと患者のカンベル平面が平行になるように、スライド本体を昇降させます。



4. 額押さえの根元を持ち、患者の額側へスライドさせ、患者の頭部が安定するよう固定します。



5. 側頭部押さえの根元を持ち、患者の頭部を押さえるようにスライドさせ、側頭部押さえを閉じます。



6. ビームスイッチを押して、位置付けビームを消灯させます。

## ○ X線撮影

1. 閉口位の撮影  
患者に、口を軽く閉じ動かないように指示し、X線室より退室します。



2. X線照射スイッチを押して撮影を開始します。左右の顎関節部分が撮影されるように、X線が4秒間ずつ合計8秒間照射されます。撮影終了後、X線照射スイッチから指を放します。



3. 開口位の撮影  
患者に、口を開き動かないように指示し、X線室より退室します。



4. X線照射スイッチを押して撮影を開始します。左右の顎関節部分が撮影されるように、X線が4秒間ずつ合計8秒間照射されます。撮影終了後、X線照射スイッチから指を放します。



### ⚠ 注意

- X線照射中にX線照射スイッチを放すと、X線照射と撮影動作が停止し撮影エラーとなり、再撮影など患者のX線被曝増加の原因となります。緊急停止の目的以外では、撮影が終了するまでX線照射スイッチを放さないでください。

### ⚠ 注意

- TMJ撮影中に、顎関節部以外の区間ではX線照射は停止し、X線照射ランプが消え、照射ブザー音も鳴り止みますが、アームが停止するまでX線照射スイッチを押し続けてください。

## ○ その他の位置付け方法

- 患者が小児の場合は、TMJアダプタ(CHILD)を使用して位置付けを行います。